

時事問題

米價と酒造制限との關係

戸 田 海 市

米の供給の不足せる爲め米價の騰貴した際に、法律を以て酒造を禁止又は制限するとき、酒の原料となるへき米が殆んど全部飯米となる。此場合に米の供給の全體には増減はないが、酒造米が減少して飯米の供給が増加する。此の如く同じ數量の米でも其用途を變更することか、全體の米價に變動を生じ即ち米價の下落を來たすの結果となることは何人も疑はぬやうであるが、何故に米の用途の如上の變更か其價の下落を來たすやと問へば、世人は通例漠然と酒造を制限した丈け米の需用が減少する爲めであるとか、又は此制限丈けの飯米の供給が増加するか爲めであるとか答へる、此答は大體に於て誤かないとしても、吾人は今少しく詳細に之を研究して米價變動の起る徑路と其變動の程度とを考へねばならぬ。

一國に有力なる節酒又は禁酒の運動が起つて、一般消費者の酒に對する需用が減した爲めに、酒造業者が損益の打算より自發的に酒造を制限した場合には、其制限と略ほ同じ程度に於て一般消費者の購買力か酒の消費に向ふことも減し、従つて酒の供給の減したるに係はらず、其價に別

段の騰貴を示さない。若し此の如き酒造制限か米の缺乏の爲め米價の騰貴せる際に行はれたならば、酒の消費より解放せられた購買力の一部分か轉して飯米の需用に向ふこととなるは疑を容れない。而して酒は相當の生産費を投して米に加工したる上に重税を課せられて居るものであるから、酒の價は其原料米の價に對して二倍以上の大きさを有する。故に例へば酒造制限の爲め百萬石の酒造米が變じて飯米となつた場合に、若し酒の消費より解放せられた一般購買力か全部飯米の需用に轉するものとすれば、其購買力の大きさは以前の二百萬石以上の飯米に對する需用と同一であるから、米價は騰貴する。若し又此の如く飯米の需用に轉向する購買力の大きさが其二分の一以内に止まり、以前に酒造業者か百萬石の原料米を得る爲めに費した所と略ほ同額となるときは、米價に別段の變動を來さない。又一般の購買力の轉向か其れ以下となるときは米價は下落する。果して然らば、此購買力轉向の大きか如何なるものと見ることを正當とするやと云ふに、後に酒造全禁の場合に付て論ずる所に由りて明かなるか如く。其轉向は割合に小なるものであつて、米價騰貴の結果を生ぜざるは勿論、通例の場合には相當に米價を下落せしむることとなるであらう。

右は國民の酒に對する需用の減した爲め、自然に酒造制限の行はれた場合であるが、吾人の今研究せんとする場合は、國民の酒に對する需用の状態には何等の變化なく、法律か飯米の缺乏を救ふ爲めに酒造の制限を強制した場合である。此場合には酒の供給の減少に伴ふて其價の騰貴することか明かであつて、一般經濟界の景氣に特別の盛衰かないならば其騰貴の程度も相當に大なる。例へば酒の供給か五割を減したとすれば、國民か酒の購買に費す金額も五割を減少せしす

て二三割の減少を示すに止まり、又此の酒より解放せられた二三割の購買力も決して全部飯米の需用に轉向することはない。故に法律に由る酒造制限の場合には常に米價が相當に下落するものと結論して誤らぬ。

法律に由り上述の如く酒造を制限する代りに之を全禁した場合には、米價の上に如何なる影響を生ずるやと云ふに、此場合には酒造業者が原料として米を需用することは全減するが、若しも一方に於て一般消費者が酒の消費より解放せられた購買力の全部、即ち酒造業者が原料としての米に對して支出した金額の二倍以上の購買力の全部を飯米の需用に轉向するものとすれば、無論米價は騰貴する。併し乍ら實際に於て此の如き全部の轉向が生ずることは決してない。飲酒は一般下層民の只一の娛樂と稱せらるるとは云へ、上中層階級の家庭宴會等に於て酒の爲めに消費する金額は、低廉の下等酒を飲用する下層民の飲酒の金額よりも寧ろ大であらう。此事は酒の賣れ方が一般の宴會の多少に由て大なる影響を蒙むることを見ても察せられる。然るに上中層階級は概ね既に充分の飯米を消費しつつあるから、飲酒が不能となれば其購買力を飯米以外に轉用する。又下層民に付て見るも、假りに彼等が以前飲酒に費した金額の全部を飯米の需用に轉向するものとしても、其金額は以前に酒造業者が原料米に對して支出した金額以上に達するを得ないであらう。故に又之が爲めに米價の騰貴を生ずることはない。加之實際に下層民も飲酒より解放せられた購買力の全部を飯米の需用に向けることはなく、其の少なからざる部分は有益有害なる種々の享樂に轉用せられる。故に酒造全禁の場合にも相當に米價の下落を生ずるものと見ねばならぬ。

酒造制限は以上の如く何れの場合にも相當に米價の下落を生ずるが、飯米の缺乏せる際には酒の消費より解放せられた購買力の一部分か飯米の需用に轉向する限りは、其米價下落の程度は酒造制限と同量の米の收穫の増加した場合、又は人口減少其他の原因より同量の米の需用の減少した場合ほどに大なるものとならぬことを認めねばならぬ。併し乍ら其米價下落の程度は少ないとしても、下層民の生活に及ぼす影響を見れば、以前一家の主人か其收入の不相當に大なる割合を酒の爲めに費して妻子の生活を壓迫し、特に其食料消費の減少を餘義なくせしめたるに反し、酒造か禁止制限せられた場合には各家庭の内部に於ける生活資料の分配状態に大なる改善を來たし、飲酒より解放せられた購買力の少なからざる部分か妻子の生活の改善に費されることか明かである。飲酒の禁制は飲酒者自身の生活の改造に重大の意義あるのみならず。婦人の地位を向上し又兒童の養育を改善するに付て大なる効果がある

二

飯米の缺乏せる爲め一般の購買力か飯米の需用に向ふ勢の強き場合に於ても、酒造の禁止制限か行はれたならば米價か下落するものと見るを正當とするは上述の如くであるが、更に酒造原料としての米の需用の態様か飯米用の場合と異なることを考へるならば、吾人は酒造禁制の米價を下落せしむる効果か一層大であることを信せざるを得ない。先づ酒造業の米を需用する時期は恰も收穫後の新穀出盛りの時期と一致する。此時期に於て米の供給か特に増大するに對し、恰も大量の酒造米需用か起る爲めに需供の均衡か保たれて、米價の甚しく下落することを防ぐのである。

故に酒造の禁制は此需供の均衡を破つて大に米價を下落せしむる效果がある。國民が飯米として米を需用することは一年を通して略は平均するに反し、市場に供給せらるべき米の一大部分は收穫後久しからずして一時に市場に現はれる。是れ我國の産米の約四分の三を所有する自作農及小作農が其財力の乏しきより久しく米を貯藏し得ざる爲めであるが、更に一般の支拂を歳末に集中する取引慣習の特に大なる一般農民は、新嘗の正月を迎へる爲め十二月乃至一月中旬頃までに其所有米の頗ふる大なる割合を賣放たざるを得ない。故に若し米が單に飯米として需用せらるるものとすれば、此時期に於ける需用に比して供給が非常に過多となり、農民は取引上甚た不利の地位に陥らねはならぬのであるが、恰も此時期に於て酒造業が一時に大量の酒造米を需用するか爲めに農民は不利の地位より救ひ出さるることとなるのである。

我國の米産額を假りに五千五百万石とすれば、其の市場に取引せられて米價の構成に與かるものは約三千万石の程度に止まり、其他は農民の自家用となるのであるが、此市場供給高の中で飯米の爲めに需用せらるるものは、盛夏食慾減退の候に於ける例外を除けば毎月略は平均して居るから、此市場供給高の八割が飯米となるものとすれば、毎月の農民外の飯米需用高は二百萬石を多く超へない。固より國民は此外に飯米として鮮臺米外米をも常に需用するのであるが、内地米に對する市場の飯米需用高は上述の程度である。然るに此市場供給高三千万石の中で農民が新穀期に賣放つことを要するものを少なく見積つて四分の一とするも、其供給高は此期間の飯米需用高に比して二倍に近き過大のものとなる。然るに酒造業が自由に行はれるときは、三百萬石乃至四

百萬石の酒造米を遅くも一月中には全部買込むことを要する故、一方に農民か此時期に大に賣急くも米價は甚しく下落しない、最も此時期には正月の餅搗きの爲めに糯米の需用も特別に多く起るか、併し餅は一年を通して相當に消費せらるるものであつて、酒造の如く此時期に集中して行はれるものではない上に、餅の多く消費せらるる間は所謂米穀市場は餅凭れとなつて飯米の需用も相當に減する、故に此期に於ける餅搗用の特別需用は市場の供給過多を救ふの効果少なく、此效果の大なるものは酒造の爲め大需用である。故に酒造を禁制すれば米價の著しき季節的下落を生せざるを得ない

此の如き米の需供の關係よりして通例我國の米價は十二月乃至一月中旬に最低位を示すこととなつて居る。此最低位は當收獲年度に於ける米價の出發點又は産れ値と見るべきものであつて、爾後漸次に米價の騰貴する程度は、米の保存に要する金利、倉敷料、減量變質等の費用の増加に略ほ一致する。然るに新穀出盛り期に於て酒造禁制に由り需供の均衡が破れた爲め、特に此季節の米價を下落せしめた場合には、需供の均衡の恢復せられた其後の米價の騰貴の割合か上述のものより大となり、之か爲め一年度を通して別段に米價の下落を見ざる結果とならざるやの疑問か起るてあらう。併し乍ら酒造禁制の爲め新穀期に於て米價が特別に下落するも、酒造より解放せられた米の全部か直ちに此季節内に消費せられるのではない。米價か下れば飯米の消費も或程度まで増加するが、併し供給過剩となつた米の主なる部分は農民と米商との手許に停滯し、又一小部分は消費者の手許にも停滯して常に其後の米價を壓迫するのである。此外飯米取引に付ては下の如

き特別の市場心理の作用があるから、一收穫年度に於ける米價の出發點又は産れ値か低くなれば其後の米價も情勢的に低位を保つ傾向が強い

飯米に對する需用は甚だ弾力性に缺けて居る。即ち一般消費者は或分量までは殆んど價の高低を問はずして之を得んとするに反し、其れ以上の米か供給せられたならば、非常の廉價にあらざれば之を需用しない。故に米の取引は弾力性の強き普通商品の取引に比して人心か特に鋭敏である。其結果賣方買方ともに取引上少しく自己の地位に不利の事情か起れば、其取引態度か非常に軟弱となるに反し、少しく有利の事情か起れば非常に頑強となるの傾向がある。加ふるに米の供給者たる農民は取引者としては最も幼稚なものであつて、客觀的に需用供給の狀態を打算するよりも主觀的に自己の財的地位の強弱に由り取引上の態度を左右せらるることか強い。是れ或年度に米價か騰貴した爲め農民の財力か強固となれば、次年度には平年作であつても米價は依然騰貴を持續し、反對の場合には下落を持續すると云ふか如く、米價か特別に大なる情勢を有し、所謂高價三年低價三年の諺を生ずるに至つた所以である。米價か此の如く情勢を有することは、獨り一年度と次年度との間に於て見るのみならず、一年度内に於ても實現せられるものである。即ち農民一般か其所有米の大なる部分を賣放たざるを得ざる新穀期に於て米價か高きときは、農民の財力か特に強固となるから其後の賣出に付ても大に強硬の態度を採るに反し、最初の米價か低きときは著しく其財力か傷けらるる爲めに、其後の取引態度も常に軟弱とならざるを得ない。尙ほ農民か特に多量の米を賣出す新穀期に於て米價の高きと低きとは、農民の金融市場に於ける信用の厚薄

に重大の關係を有する。故に酒造禁制に由り此時期の米價か特に低くなれば、農民は一年を通して金融の便を得るに不利となるから、其後の賣出に付ても常に軟弱とならざるを得ないのである。次に酒造業の米に對する需用は特に上等米に多きことを特色とする。此點か米價に如何なる影響を及ぼすやと云ふに。一般經濟界の特別に好景氣なる爲め上等米の需用の特に強くなつた場合を除き一般に云へば、米價か騰貴するほど上等米の需用か減して下等米か強く需用せられ、之か爲め米價騰貴の際には上等米よりも下等米の騰貴の割合か大となる。即ち其米價騰貴を解剖すれば上等米よりも一層多く下等米の騰貴に由て成立して居る。故に米價騰貴の際に酒造を禁制すれば需用の比較的になき上等米の供給を増加することとなるから、之か爲めに米價を引下げる力か幾分か減殺せらるることは之を認めねはならぬ。併し此事たる酒造禁制の豫定せられなかつた場合に付て云ふのであるが、若し豫しめ此禁制か決定せられてあるならば、農民は收穫か割合に少なくて價の騰貴か割合に低き上等米よりも一層有利なる中下等米を多く生産することとなる。米價騰貴を防かんとすれば米の品質の改良よりも其數量の増加を必要とし、又農民も數量増加を利益とするものであるが、酒造禁制を豫しめ決定して置けば此事か實現せられる。是れ予等か本年の米作に着手するに先ち今日より次年度の酒造制限を豫定すへしと主張する理由の一である。

最後に法律に由り酒造制限を行ふた場合に、經濟界か特に不景氣にあらざれば酒價か騰貴する。只た酒造を五割制限すれば酒價も五割の騰貴を爲し、之か爲め酒造業者か同一の賣上金額を得るか如き結果となるのは特別の好景氣の場合に限らるることであつて、普通の場合には非必需品た

る酒の騰貴の割合は其供給減少の割合よりも幾分か小となるてあらう、併し酒造業者の私經濟より見れば酒造制限に由り、其生産費の最大項目たる酒造税原料米及勞銀が減少する割合よりも、其實上金高の減少の割合が遙かに小となる。故に固定資本其他の總費を計算しても生産費に對する収益率が増加するのみならず、酒造制限の程度にして三分の一又は二分の一に止まるならば、収益金額も増加するてあらう。故に酒造制限を行ふと同時に酒造税の増加を行はざるに於ては、酒造家か米を買入るるに方つて高價を拂ふことを厭はなから、自然に酒造米の買入か米價を強く煽るの危険がある。是れ米價を引下げる爲めに酒造制限を行ふに方つては、同時に酒造税を引上ぐるの必要ある所以である、此外酒造制限と同時に酒造税を急激に引上ぐれば、後日財政上の理由より酒造高の再び増加するの危険を防ぎ、以て禁酒の理想に近づくに有利であることは、疊て本誌に論じた如くである。

三

酒造禁制か米價抑制の效果あることは、上述の如くであるから、予輩は昨年米暴動の起つた際に、政府が直ちに本年度の酒造を制限することを豫しめ宣言するの必要を本誌に於て主張した。若し前内閣にして之を豫定して置たならば、今日制限を實行することも容易であつたらう。又此豫定がなくとも現内閣か之を斷行することは決して不能事てなかつたのであるが、不幸にして徒らに制限實行の機會を逸した。併し予輩は單に飯米問題の上よりしても更に明年度の酒造制限の必要を認める者であつて、其必要ある理由は本年之を必要とした理由と共通のものもあるから、

先づ本年之を必要とした理由を述べんに、此制限に由り上述の如く米價の騰貴を防ぐの外、更に考ふべき點は本年の飯米問題の解決の爲めには成るべく多量の外米を輸入せねばならぬ。然るに英佛に取つても米は植民地の秩序を維持するに必要であり、又植民地に輸出の餘力があれば之を歐洲に廻送し、自國の秩序を維持する爲めにも、大陸の混亂を恢復する爲めにも必要である。故に我國か此の如き大切の米を友國に向つて請求するには、先づ以て我國自身か充分の節約を行はねばならぬ。世界の文明國民か擧つて飲酒の禁止又は節約を行ふて自國の食料の不足を防ぎ、又進んで歐洲大陸の飢餓を救はんと努力しつつある今日に於て、我國か自國の飯米の不足の明白なるに係はらず其の大部分を酒造の爲めに濫用し、更に友國に向つて貴重なる米の分配を要求することは甚だ耻つへきてある。又假りに英佛か相當の外米の分配を承認するとも、單に之に由て本年度の飯米の調節を充分に行ふことは不能であるから、一面に國民か大なる決心を以て日本米の節約と代用品の消費を行はねばならぬ。然るに飯米問題の解決に付て此の如く國民を緊張せしめんとすれば、先づ政府か財政上の犠牲を忍んで酒造制限を斷行することに由り其決心の在る所を示さねばならぬ。政府か自由に酒造することを許すときは、國民は飯米問題の解決に付て政府に何等かの成算もあり、特に外米支那米の輸入に付て確乎たる成算があるものの如く信するから、日本米節約に付ても自然に緊張しない。

本年の酒造制限は不幸にして實行の機會を失つたが、明年度は是非其制限を實行せねばならぬ。酒造制限問題に付て予輩は單に之を飯米問題の上より見て明年限りに止めず、今後年々制限を大

にして、約十年後には我國を禁酒國とすることが、社會問題及一般風紀問題の解決上必要であり、又此制限は今後年々人口の増加に對する食料問題の解決にも有利であると信するか、此禁酒の計畫に付て專見を述ふることは之を他日に譲り、單に目下の飯米問題の上より見るに、明年度の酒造制限を豫定することは本年度及明年度の米價調節上必要である。而して此制限を實行するには同時に酒造税を増加するの必要あるは前に述べた如くであるから、今期の議會に於て其制限と増税とを決定せねばならぬ。

明年の酒造制限か本年の飯米問題の解決に必要な所以を明かにするには、先づ本年の飯米の需供の前途を考へねばならぬ。本年國民か酒造制限其他の節約を行はすして、專はら移輸入米に依頼せんとすれば、朝鮮臺灣より三百萬石の移入かあるとして此外に六七百萬石の外米を輸入し充分之を低廉ならしめて其需用を喚起すると同時に、此巨額の低廉なる外米の輸入販賣に由り日本米を適度に下落せしめ、又端境の危険時期にも數百萬石の豫備米を國內に残存せしめて此時期に於ける配給の梗塞を防かねばならぬ。然るに臺灣は米價騰貴の爲め既に輸出制限を行ひしのみならず、内地に劣らざる米價騰貴を示しつつある所の朝鮮も、之を斷行すること昨年の端境に於けるか如くなるかも知れぬ。假令へ此の如き制限を行はずとも、内地と同様に朝鮮にも農氏の賣惜みか強くなつて居るから、世人の期待するか如く二百數十萬石の内地移入を見るは頗る困難である。外米支那米の輸入に付ては何人も其數量を豫想し得ざる所であるが、四圍の狀況より推して吾人は餘り多く之を期待するを得ない。此の如く單に數量の上より見ても飯米の不足の補充は

甚た困難であるが、更に大なる困難を感ずるは米價の甚た高きことである。米の強制收用又は管理と云へる最後手段を行ふこととしても、本年は昨年以上に其實行か困難である。何となれば本年は農民一般就中中小農か多く米を賣出す新穀期に於て、米價か殆んど昨年に倍する高位を保ち、加ふるに中小農民の多く従事する所の副業副産の收入も甚た大である。故に時日の経過するに従ふて例年は米の所有者か少數の大地主及米商のみとなるか爲め、強制收用の實行も容易となるのであるが、本年は米の所有者か無數の中小農民の間にも分散せられ、即ち此等小所有者も賣惜みを行ふの實力を有し、之か爲めに米價の騰貴を甚しからしむると同時に、強制收用の實行を困難ならしめ、加ふるに資力の大なる工場主其他の大消費者も私かに買溜めを行ふて一般消費者に對する市場の供給を益不足せしむる傾向がある。例年は相當に大量の古米か農民の手に停滯して其賣惜みを牽制したか、本年度は古米の殘存か皆無と云ふへき狀態であるから、今後農民か大に賣惜を行ふも、例年の如く農民の手に多大の停滯米を生じて其賣れ口に付き不安を感せしめるか如き事實も起らない。

此の如き需供狀態の下に於ては一般消費者か日本米節約に付て確固たる決心を爲し、若し幸にして外米か相當に輸入せられたならば大に之を消費し、又不幸にして外米輸入か不充分であれば他の代用食品を消費し、以て農民の賣惜みに對抗するに現實の需用の減少を以てせねばならぬ。之と同時に政府は外米管理を行ひて、出來得る限り多量に之を輸入し、特に昨年か如く飯米配給の梗塞の爲め恐慌的相場を生ずるの危険か起れば、直ちに其管理に屬する外米を市場に放出して

恐慌の發生を防止せねばならぬ。併し外米輸入が多なることを期待し難きのみならず、本年の天候か不幸にして米作上不良となることあれば、相當の外米輸入があつても米價の更に騰貴することを防ぐを得ない。然るに今日より明年度の酒造を制限し、例へば之を半減することを豫定すれば本年の天候と米作の良否に係はらず、酒造を制限した丈の米の供給増加を國民に保證することとなり、之か爲め大に農民の賣惜みの氣勢を挫くことが出来る。

次に明年度の飯米政策土何故に酒造制限を必要とするやと云ふに、最初に論せし如く我國の米價の高低は必しも收穫の増減と一致せずして頑強なる情勢を示すものであつて、或年に高低を初めた米價か翌年直ちに反對の趨勢を呈するか如きは稀有の例外に屬する。戰爭以來の諸物價の騰貴に比して米價か一層大なる騰貴し初めたのは昨年の端境近くであつて、今年の農民の財力關係より見れば明年も此騰貴の情勢か繼續するものとして飯米政策を立てねばならぬ。特に世界的食物缺乏の状態は本年を以て終るとは考へられない。歐洲の穀倉たる露國の秩序紊亂の現状より推せば、本年同國の農作は充分に行はれ難く、獨逸其他の大農産國に於ても農作の恢復は望まれない。果して然らば明年我米價か騰貴を繼續することに對し、多量の外米か低廉に入り來つて之を抑制することも期待し難い。

從來米價騰貴の情勢か挫折して下落の情勢に轉するの徑路を見るに、米價の騰貴か消費者の節約を生ずると同時に、外米輸入の増加を促し、之か爲め農民の貯藏米か逐年累積停滞しつつあるに際して特別の豊作か來り、其結果農民の頑強なる態度か急變して殆んど恐慌的に軟弱となるこ

とを常とするのである。然るに本年の米作か假りに六千萬石以上の大豊作となることかあつても農民の手許には其不安を生せしむるか如き停滞米は生しない。故に明年の端境に至れば再び残存米か稀小なる爲めに米價の暴騰を生ずるの危険がある。國民か端境を安全に経過する爲めには少くとも一ヶ月の消費量に相當する停滞米の残存を要する。吾人は戦争以來四年間諸物價及勞銀に比して米價の特別に低くかつた爲めに、其消費を大に増加すると同時に外米の輸入を減し、之か爲め逐年残存米を喰ひ込んで、昨年に至り殆んど之を全滅せしめた爲め、端境に入つて恐慌的相場を生したのである。本年の米作か如何に豊作となつても、此一回の豊作に由り明年の需用を充足した上に、數百萬石の残存米を生して明年端境の取引を圓滑ならしむることは容易に想像せられない。是れ明年度も飯米政策上より酒造制限を必要とする所以である。若し本年の米作か六千五百萬石と云ふか如き異常の豊作となつたならば、單に飯米政策上より見れば豫定の酒造制限を端境後に於て廢止すれば足るのである。只た予輩は本年より直ちに酒造制限に着手して十年後には酒造全禁を實現することを希望する。固より此の如き酒造制限か近き將來に大豊作と競合して米價暴落を生ずることは想像し得る所であるから、一面には前に本誌に論したるか如く常平倉制度を設けねはならぬ。